

2015年12月28日

各 位

オリックス資源循環株式会社

東京都立川市に積替中継施設を新設し、 市内の事業系一般廃棄物の処理受託事業を開始 ～地域のごみ処理問題の解消に新たな選択肢を提供～

オリックス資源循環株式会社（本社：埼玉県寄居町、社長：花井 薫一）は、このたび、東京都立川市に廃棄物の積替中継施設を新設し、同市内から発生する事業系一般廃棄物の処理サービスを開始しましたのでお知らせします。

オリックス資源循環は、埼玉県寄居町において廃棄物高度処理施設（ゼロエミッション施設^(*)）をPFI事業として運営しています。最先端の熱分解ガス化改質方式を採用しており、廃棄物を約2,000℃で熔融し、完全に再資源化できることが特長です。再資源化物質としてスラグやメタルなどを回収するほか、精製合成ガスを敷地内の発電施設で高効率発電の燃料として利用しています。処理能力は、民間施設として国内最大級の日量450トンで、工場や事業所から排出される産業廃棄物だけでなく、埼玉県内および近隣の市町村から家庭ごみなどの一般廃棄物を受け入れています。

本サービスでは、オリックス資源循環が立川市内で商業施設などを運営する事業者などから事業系一般廃棄物の処理を受託します。立川市より許可を受けた一般廃棄物収集運搬会社と連携して回収した廃棄物を、中継施設で大型トラックに積み替えて効率的に当社施設へ運搬することで、コストを抑えながら遠方からの廃棄物の受け入れを可能にしました。

立川市は、昼間人口の増加や大規模商業施設などの開業が進む一方で、清掃工場の老朽化および移転問題を抱えており、2015年6月に「立川市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」を改定し、市民、事業者、行政が協力してごみの減量・資源化に取り組んでいます。

オリックス資源循環は、本サービスを通じて立川市が掲げるごみの減量やリサイクル推進などのごみ処理問題の解決につなげていきたいと考えます。今後もこれまでに培ったノウハウを生かし、積極的に事業展開を図ってまいります。

^(*)廃棄物を原材料などとしてすべて有効活用することで、不要な排出物を一切出さないこと。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

オリックス株式会社 グループ広報部 藤井・堀井 TEL：03-3435-3167

■ サービスフロー図

